

## 岐宿地区

岐宿地区は福江島の北東部、三井楽の東、福江市の北に位置する。水ノ浦湾は、100 万年前に玄武岩質の細長い溶岩流によって二分された湾である。魚津ヶ崎半島と呼ばれるこの陸地の延長は、湾口を保護し、十分に保護された港を作り出している。強い北風と海流を避けることは、中国に向かって西に進む船にとって極めて重要であり、この安全な港が五島をユーラシア大陸への海の玄関口にしたのである。

水ノ浦湾から内陸に入ると、曲がりくねった入り江が広がっている。水辺には、遣唐使の船を係留するために使われた大きな艀綱石（ともづないし）など、かつての水路や船着き場の跡が残っている。

## 見どころ

### 魚津ヶ崎公園

魚津ヶ崎公園は、広々とした芝生と海の景色、そしてコスモスやひまわり、毎年春には約 400 万本の菜の花など、季節の花々で知られる公共の公園である。強い海風が吹くこの場所は、バラモン凧と呼ばれる五島の伝統的な紙凧や竹凧を揚げるのに適した場所でもある。

### 城岳展望台

14 世紀、ここは島の領主が戦の際に使った山城の跡地だった。現在、この高台からは五島列島と

福江の珍しいモザイク状の地質が一望できる。海から干拓された平らな土地には水田が広がり、湾の向こう側に突き出た古代溶岩の尾根の間の入り江には漁村がある。

### 巖立神社

この神社は 14 世紀末に後藤氏によって創建されたもので、島で最も古い神社のひとつである。周囲をキンモクセイの原生林に囲まれているが、これは古来、神社の境内でのこぎりや手斧を使うことを禁じていたために残ったものと思われる。現在は長崎県の指定文化財となっている。毎年 9 月には神楽の奉納などのお祭りがおこなわれる。